

〈広報〉
第24号
平成30年
6月15日

青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

青山小学校区
コミュニティ
協議会

新潟市西区青山6-16-20
☎025 (233) 2990



平成三十年度

青山小学校区コミュニティ協議会総会

地域の安全

見守り活動強化へ



青山小学校区コミ協の平成三十年度総会が六月三日、有明・浦山両地区の構成員ほか五十五人が出席して開かれました。議長に長澤一明氏（浦山五区自治会長）を選出、新年度予算、事業計画を決め、当面の課題について意見交換し

ました。

中藤会長、来賓の西区・笠原明夢区長らがあいさつで五月に発生した小二女児殺人・死体遺棄事件に触れ、痛ましい事件が二度と起こらないよう地域で安全対策を強化し、見守り活動を徹底していくことを確認しました。

事業計画は秋の文化祭について、十月二十日（土）二十一日（日）二日間の日程で開催する。防災訓練について青山小学校を軸に有明・浦山両地区合同で九月八日（土）に実施する。従来

の地区単位の訓練形態を一部見直す形で小委員会を開いて検討を重ねている。

役員改選では副会長が村井良次氏から打越輝郎氏へ、村井氏は福祉部会長に就く。福祉部は多様化している高齢者福祉などの充実、強化のため、部会員を増員して取り組んでいく。

総会に先立って西区区政懇談会を開き、地域（自治会）役員の高齢化、担い手不足の対策、人口減少に伴う地域づくりなどについて笠原区長ら西区の担当者と懇談しました。

青山小学校区コミュニティ協議会役員

役職	氏名	所属
会長	中藤 榮子	
副会長	打越 輝郎	自治会兼務
副会長	相馬 哲	浦山自治協会
総務部会長	田中 米三	自治会兼務
環境安全部会長	田嶋 豊信	自治会兼務
文化スポーツ部会長	矢口 弘	児童委員兼務
福祉部会長	村井 良次	自治会兼務
総務部副会長	平賀 巳代治	自治会兼務
環境安全部副会長	田中 米三	自治会兼務
文化スポーツ部副会長	藤井 秀子	
文化スポーツ部副会長	小舟戸 伸也	
福祉部副会長	渡部 妙子	
福祉部副会長	堂前 みどり	
福祉部副会長	竹本 智子	
福祉部副会長	湯川 美幸	
福祉部副会長	五十嵐 修	自治会兼務
福祉部副会長	打越 彰子	
福祉部副会長	宗村 順司	民生・児童委員兼務
監事	鈴木 隆	自治会兼務
監事	丸山 喜宏	自治会兼務
事務局員	越村 正美	
事務局員	中村 求	
事務局員	廣瀬 ゆみ子	
事務局員	本間 佳子	
事務局員	岩崎 俊二	

平成30年度

青山コミュニティハウス 管理運営委員会総会

新会長に相馬哲氏、中藤会長は顧問に

青山コミュニティハウスの平成三十年度管理運営委員会総会が四月十三日開かれ、新年度の事業計画を決めた後、会長交代ほか、新しい管理運営体制を承認しました。

事業計画は秋の文化祭の日程を十月二十日から二十一日までの土・日

の二日間とし減少傾向の作品展について、ハウスの利用者団体に出展を積極的に働きかけていくことを確認しました。

西区の笠原明夢区長は今年の大雪に触れ、八五〇に達したところもあり、運転手不足などで除雪車の出勤がままならなかったなどの実情について、住民に心配を掛けたことを説明し、次いで行政と一体となったコミ協のバックアップに謝意を述べました。中藤会長からはトイレの改修、事務機器の完備などハウスの施設整備の充実についての報告がありました。

委員会の構成が大幅に変わりました。会長は中藤築子氏から相馬哲氏（浦山自治協会長）、副会長には鈴木隆氏（浦山三区自治会長）が就任、中藤会長は顧問に、監事には利用者会の田中文代氏が就き、理事八人の構成となりました。



児童の安心・安全をモットーに

青山小・校舎周りの環境整備活動

青山小の「校舎周りの環境整備活動」（同小PTA、育成協共催）が5月12日に行われ、好天のもと229人が参加、作業に汗を流しました。

この活動は毎年、同小の運動会前に、児童の安心・安全をモットーに保護者らが気持ちよく応援できる環境づくりをを自主的に実施、今年で5年目になります。

活動の作業内容はグラウンド内のトラック確保のた

め、雑草刈りや石拾いなど、今年は今秋予定のマラソン大会に備え、水沼藤男さんが中心になって特別に、砂利道補修、側溝清掃も併せて行いました。ゴミは土のう約300袋、リヤカー約10台分になりました。

この活動を通して子供達を中心に保護者と学校、地域の間強い一体感が生まれ、コミュニケーションが一層深まっていることを強く感じています。



平成30年度 自治協議会総会

浦山
URAYAMA

浦山地区自治協議会は平成三十年総会を四月二十二日開き、新年度の事業計画を決めたほか、関屋堀割町町内会長を退任した相馬哲氏を引き続き自



治協会長に選任、さらに三地区の自治会で交代した新任会長を承認しました。

新年度の主要事業はふれあいの集い(九月十日)、防災訓練(九月八日)など住民の福祉と安全・安心の地域活動を進めて行くことを決めた。

新任会長は次の通り。

▽一区 田村政敏 ▽中央区 鈴木聡
▽関屋堀割町 岩田将勝

平成二十三年から七年間務め、退任する二区の杉山義孝氏は「自治会長の大任を引き受け、地域の課題に取り組み、貴重な経験をさせてもらいました」とあいさつしました。

中央区の内山雅栄氏は自治会長退任後も自治協に残り、理事として浦山地区防災連合会、同防犯協会の任務を受け持つことになりました。

有明
ARIAKE

有明地区自治協議会は、四月二十二日青山コミュニティハウス内で平成三十年度の総会を開催しました。有明地区、八つの自治会から十九人、来賓として中藤コミ協会長、渡部コミ協副会長、民生児童委員、主任児童委員、二本保護司の計二十七人が出席しました。

新年度の事業は、有明ふれあい夏祭り(八月十八日)、防災訓練(九月八日)、有明ふれあいの集い(九月十八日)、有明お茶の間「らっくり」(月一回第一水曜日)の開催。高齢者一人暮らし世帯等への友愛訪問事業の継続などを決めました。

有明自治協会長には、新しく打越輝郎青山山西自治会長を選出しました。



中学生とともに考える コミュニティ交流会

中学生とともに考える第2回コミュニティ交流会が3月22日、青山コミュニティハウスで開かれました。小針中、関屋中から各4人。地域の自治会長ら地区リーダー12人、教諭1人、教育コーディネーター2人が参加し、地域の自然や環境、行事などをテーマに意見交換しました。ざっと3つのテーマにしぼって中学生の発言をまとめてみました。



①住んでいる地域のイメージは?

- ・公園が多く、猫も多い
- ・道が狭く、坂道が多い
- ・自転車が錆びやすい

②地域の思い出は?

- ・花文字や豚汁会
- ・町内ラジオ体操・ストップマーク書き
- ・有明福祉まつりや町内のバーベキュー大会

③これから地域に希望することは?

- ・青山中学校をつくらしてほしい
- ・勉強ができる居場所がほしい
- ・お祭りに参加したい

初夏



花文字、 鮮やかにカラフルに

初夏の青空のもと、5月26日関屋分水路左岸にて青山小学校区コミュニティ協議会主催の「一斉清掃・花文字花壇づくり」が行われました。地域住民や小学校の先生、区役所職員など約200人が参加しました。

午前10時に集合。主催者をはじめ内藤和久国土交通省信濃川河川事務所副所長、笠原明夢西区長、杉中規彦青山小学校長のあいさつの後、遊歩道の草刈りから作業開始。堤防の傾斜面にペゴニア、サルビアの花々を植栽して、海をイメージした西区のシンボルマーク、「西区」「セキヤ分水」の花文字を完成、美しく鮮やか

な空間を演出しました。

植栽の終了後は、青山海浜公園へゴミを拾いながら移動、公園では今年も育成部の方々とお母さん方が調理したおいしい豚汁に舌鼓を打ち、参加者同士の交流を深め、和やかなひと時を過ごしました。

花文字植栽事業は25回目の昨年、環境美化と住民の連帯による優れた緑化推進活動が評価され、6月に国土交通大臣表彰を受賞しています。



平成三十年度

利用者代表懇談会

五月十三日、青山コミュニティハウス利用団体の代表者懇談会が開催されました。

参加は十五団体と役員・施設側の二十二名。

各サークル代表者から自己紹介・近況報告の後、「活動は楽しいが会員が増えない」「会費の設定について」など、活発で和やかな意見交換がありました。



施設側から二十九年年度の事業・収支報告や三十年度の予算説明、会議室Aの壁に新しく鏡を設置した報告がありました。

今年度の文化祭については、施設側から昨年の実施方法が好評だったため、今年度も土・日の二日間の日程を予定している説明がありました。引き続き消防・避難訓練が行われ、非常口の押し方や非常口の場所を確認して、閉会しました。